



月報

7

# 缶詰問屋

(48. 7. 12 №55 VOL5)

## ◆目次◆

6月の行事	1
◇加工原料用チェリーの取引安定について	2
◇JASももかん詰の展示説明会	3
◇取引用伝票普及指導員について	4
<b>共同宣伝</b>	
◇46年度 缶詰共同宣伝計画と実施状況	8
◇ベターリビングショーナゴヤ'71におけるアンケート結果	11
◇缶詰フェア(東京地区)開催要項	13
缶詰フェア(東京地区)出店者リスト	16
◇サンケイ料理教室日程表	17
<b>会員消息</b>	19
<b>団体報知</b>	19

【東京地区「缶詰フェア」7月16・17日八重洲口ホール】

【全缶協第3回「缶詰食べましょう週間」7月19日～全国一斉】

【NHK総合テレビきょうの料理特集「かん詰料理」7月19日～24日】

## 全国缶詰問屋協会

Japan Canned Food Wholesalers Association

東京都中央区日本橋通8丁目8番地  
八重洲通ビル 7階

電話 東京 (273) 9278・9289番

## 6月の行事一覧表

行 事	月 日	時 間	場 所	出 席
缶詰共同宣伝打合	6月 3日	1330～	日 缶 協	
東京地区「缶詰フェア」実行委員会	6月 7日	1330～	日 缶 協	
統一伝票打合	6月 8日	1330～	商工会議所	
東京地区「缶詰フェア」お土産係打合	6月10日	1000～13.00時	全缶協事務局	
日缶協顧問会	6月14日	1100～	日 缶 協	
「缶詰フェア」打合	6月14日	14.30～	日 缶 協	

〔「世界パインまつり」札幌市(井)今井6月15日～20日〕

「缶詰フェア」参加店説明会	6月18日	14.00～17.00時	東京ステーション ヨソホテル	
「缶詰フェア」実行委員会	6月29日	13.30～16.00時	製缶協会	
JASももかん詰展示説明会	6月30日	1300～16.00時	都勤労 福祉会館	主催 缶詰検査協会

## 7月の行事予定

普及宣伝部会	7月 2日	13.00～15.00時	北洋商事 (株)	
果実部会	7月 2日	15.00～16.30時	.	

〔東京地区「缶詰フェア」7月16.17日 八重洲口ホール〕

〔全缶協第3回「缶詰食べましよう週間」7月19日～全国一斉〕

〔NHK総合テレビきょうの料理特集＝かん詰料理7月19日～7月24日〕

## 加工原料用チエリーの取引安定 について

山形県加工果実需給安定委員会より全缶協浅井会長宛に次の文書が寄せられた。これによると本年山形産さくらんぼの生産量は3,850トンで前年比37%とといった大巾な減産になるものと予想して県内の原料取引を計画的に行ない原料価格の安定を図りたいとして全缶協に協力の要請があつた。全缶協としてもこの主旨には賛成であり過当競争によつて原料価格の高騰を招来しないように果実部会員に同文書(写)を送付し周知徹底に努める一方7月2日果実部会を開催し新物チエリー缶詰に関して打合せすることになつている。

山 安 定 第 1 5 号

昭和46年6月14日

全 國 缶 詰 問 屋 協 会

会 長 浅 井 二 郎 殿

山 形 県 加 工 果 実 需 給 安 定 委 員 会

会 長 関 根 秋 男

加工原料用おうとうの取引安定について  
の協力依頼について

謹啓 貴協会、益々御隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて本年度の本県産おうとうは、4月中の連続的な降霜と相継ぐ低温により、甚大な被害をうけ、生産量は3,850トン(前年比37%)と見込

まれ、販売数量は3,700トン（前年比37%）で、生食向1,700トン（前年比74%）、加工向2,000トン（前年比26%）と大巾な減産になることが、予想されています。

例年、缶詰の製造期間は6月15日から7月5日までの20日間でありますが、このような原料事情から、山形県缶詰協会に対しては、原料の工場間の積極的な調整と一方において、供給側の農協連合会については、缶詰協会との密接な連絡のもとに、計画的供給をおこなうよう、取引安定についての対応策を要請しております。

今年の缶詰事情については、前年在庫保有量25～30万ケースと見込まれることから、現在、積極的な発注の動きはないように見受けられますが、取引開始とともに思惑買による混乱を懸念いたしています。

ついては、産地の過当競争を防ぎ、安定取引を推進するため、貴協会におかれましても、産地の実情をご賢察のうえ、各商社の製造、発注については、自主規制の方向について検討賜わるとともに、協会員並びに商社に周知徹底を図られるようご協力方を依頼申し上げます。

なお、本県における、おうとうの作況調査結果は、別紙のとおりでありますので、参考まで同封いたします。

敬 具

## JASももかん詰の展示説明会

日本缶詰検査協会主催により昭和46年6月30日13.00～16.00時まで東京都勤労福祉会館6階会議室（東京都中央区新富町1丁目1番5号）でJASももかん詰の展示説明会を開催し全缶協からは在京果実部会員メンバーが出

席した。

なお同様主旨により下記の日程で開催される。

期 日	場 所
7月2日	静岡缶詰協会 清水市富士見町2-13
7月3日	神戸市勤労会館 神戸市生田区中山手通6丁目 生田区役所北隣
7月7日	仙台共済会館 仙台市長刀丁七

## 取引用伝票普及指導員について

日本商工会議所より全缶協浅井会長宛次の内容の文書が寄せられ全缶協から6名の取引用統一伝票普及指導員を推薦されるよう依頼があり。全缶協事務局では東部、中部、西部3地区の政策調査部会正副部長に同文書(写)を送付し各地区2名ずつの普及指導員の選出をお願いしたところ次の6氏が普及指導員として当たることになった。

- 松下鈴木(株)東京支社 管理部経理課長 太田 潔 氏
- 北洋商(株) 取締役商品管理部長 武 衛 穰 介 氏
- (株)梅 沢 中部食料品問屋連盟会長 代表取締役会長 森 下 裕 氏
- (株)マイカン 専務取締役 岩 井 孝之助 氏
- (株)祭 原 管理部電算一課々長 末 広 実 氏
- 野田喜商事(株) 事務管理部長 酒 井 和 彦 氏

なお東京地区の普及指導員の準備打合会を7月2日開催予定で全缶協からは北

洋商事務(武衛)商品管理部長が出席する予定となつている。

講習会実施要領は次の通り。

日本商工会議所

( 4 6 . 5 . 2 7 )

日本商工会議所においては、通商産業省から委託を受け流通システム化の一環として事務能率の向上と流通の合理化に資するため取引用統一伝票の普及指導事業を全国的に実施する。

1. 統一伝票普及指導員の委嘱

商工会議所関係「統一伝票普及指導員」は、昨年同様46都道府県商工会議所連合会を通じ、都道府県内商工会議所の職員のうちから適任者1名計46名を選び日本商工会議所会頭が委嘱する。この場合、昨年度の普及員を優先的に委嘱するものとする。

業種別団体関係「統一伝票普及指導員」は、原則として6業種(菓子、缶詰、医薬品、織物、金物、ゴム履物)に関係ある団体の中から43名を選び日本商工会議所会頭が委嘱する。

2. 普及指導事業

(I) 統一伝票普及指導員中央講習会の開催

取引用統一伝票の普及を促進するため統一伝票普及指導員(業種別団体関係を含む)を対象として次の要領により開催する。

イ. 日 時 昭和46年7月30日(金) 11時~16時

ロ. 場 所 東京商工会議所ビル3階 第1・2会議室

ハ. 主 催 者 日本商工会議所

ニ. 対 象 者 商工会議所関係「統一伝票普及指導員」46名  
業種別団体関係「統一伝票普及指導員」43名

- ホ 内 容 ① 取引用統一伝票の解説および指導方法について  
② 取引用統一伝票の普及について  
③ 統一伝票普及指導員の指導事例について  
④ その他

へ 講 師 学識経験者に依頼する。

(2) 統一伝票普及指導地方講習会開催

地方における統一伝票の普及を促進するため、商工会議所関係「統一伝票普及指導員」ならびに業種別団体関係「統一伝票普及指導員」による地方講習会を次の要領により開催する。

イ. 商工会議所関係統一伝票普及指導員による講習会

- (イ) 期 間 昭和46年9月1日～11月30日  
(ロ) 場 所 各都道府県内の主要都市で3回実施  
(ハ) 主催者 日本商工会議所、都道府県商工会議所連合会、開催地商工会議所  
(ニ) 講 師 商工会議所関係「統一伝票普及指導員」  
(ホ) 対象者 業界、団体および関係企業  
(ヘ) 内 容 ① 取引用統一伝票の解説とその普及について  
② その他

ロ. 業種別団体関係「統一伝票普及指導員」による講習会

- (イ) 期 間 昭和46年9月1日～11月30日  
(ロ) 場 所 全国主要都市で延129回  
(1人3回×43人)  
(ハ) 主催者 日本商工会議所、都道府県商工会議所連合会、開催地商工会議所、関係業種団体  
(ニ) 講 師 業種別団体関係統一伝票普及指導員  
(ホ) 対象者 業種別団体の会員および関係企業

- (→) 内 容 ① 取引用統一伝票の解説とその普及について  
 ② そ の 他

3. PR用パンフレット等の作成

「一般用パンフレット」

- (イ) 題 名 統一伝票のおすすめ  
 (ロ) 作成部数 130,000部  
 (ハ) 内 容 取引用統一伝票の規定  
 取引用統一伝票の現状と問題点  
 取引用統一伝票のメリット  
 取引用統一伝票設計上の注意  
 取引用統一伝票の実物そう入  
 取引用統一伝票に関する相談窓口  
 (ニ) 配布先 通商産業省、各通商産業局、商工会議所関係  
 「統一伝票普及指導員」、商工会議所、業界、団体、その他

「業種別リーフレットの作成」

- (イ) 題 名 統一伝票のおすすめ  
 (ロ) 作成部数 24,000部(1業種4,000部6業種)  
 (ハ) 内 容 統一伝票のおすすめの「はじめ」を圧縮して入れる。  
 取引用統一伝票の規定  
 取引用統一伝票の目的と効果  
 取引用統一伝票のメリット  
 取引用統一伝票の設計  
 業種の特異性をそう入  
 (ニ) 配布先 通商産業省、各通商産業局、業種別団体関係  
 「統一伝票普及指導員」、業種別団体関係  
 「統一伝票普及指導員」選出団体、その他



## 業種別団体関係統一伝票普及指導員依頼団体および指導員数

団 体 名	都 市 名	人 数
全国菓子問屋組合連合会	旭川、秋田、富山、東京、 川崎、名古屋、大阪、山口、 北九州（9都市）	各1名 9名
全国缶詰問屋協会	東京、名古屋、大阪（3都市）	各2名 6名
日本医薬品卸業連合会	札幌、仙台、東京、横浜、 松本、名古屋、富山、神戸、 大阪、広島、高松、福岡 (12都市)	各1名 12名
日本繊維卸商団体協議会	東京、京都、大阪、名古屋 (4都市)	各1名 4名
東京金物連合商工協同組合	東京、名古屋、京都、大阪 (4都市)	各1名 4名
全日本ゴム履物卸商業組合	札幌、仙台、東京、名古屋、 大阪、広島、福岡、高松 (8都市)	各1名 8名
6 団 体	40都市（含 重複都市）	43名

## 缶 詰 共 同 宣 伝

## (46年度缶詰共同宣伝計画と実施状況)

## 1. 日本栄養士会

厚生省主催の研修会を修了した全国の栄養士(栄養相談員)の協力を得、日

本栄養士会本部と提携し指導者研修会を開催したうえ全国で500回の缶詰料理伝達講習会を行なう。(45年度513回、26,110人)

なおNHKのきょうの料理のテレビ放送に合わせ都内4デパートで特設料理教室を開らく。

## 2. 全国農協中央会

全国農協中央会とタイアップし各県単位に農協生活指導員対象に研修会を行ない、各指導員が単協に帰って農協婦人部員に伝達講習会を実施する。(昨年は40回、1693人)

本年度は全国500会場で開催する予定。

## 3. 主婦連合会

東京主婦会館の料理教室で主婦連会員を対象に缶詰料理の実習指導を行ない、そのうえで各地区婦人層へ伝達講習する。

すでに6月中において柿沢利子さんにより19回の生活講座が開られてい  
る。(45年度は55回、2,740人)

## 4. 消費者団体

消費科学連合会の食品研究部員が品種を決めて買い集めた市販缶詰(1回約40~50点)の開缶試食と、品質、表示の検討を行なうもので関係官庁、缶詰検査協会、日缶協に審査、その他の助言を求め、また商品研究を行なうもの。すでに6月16日に第4回缶詰食品研究会が開かれフルーツみつ豆、オレンジジュース等が審査された。

関東農政局、ベターホーム協会などの提携も考えられている。

## 5. 栄養改善普及会

全国の同会リーダーを対象に缶詰料理特別講習会を行なう。

ことしは移動教室などが企画されている。(45年度98回 2,743名)

## 6. 調理士関係

前年度は「一流コックの作る缶詰料理のコツ」として消費者対象の講習会を

実施したが、46年度もこうしたかたちで実施する。(45年度 6回  
600名)

#### 7. マスコミ関係

朝日女性教室は前年34個所にわたり延べ4,603名を動員して実施したが  
ことしは地域集會を16回、団地集會を8回程度実施する予定である。

この朝日女性教室は関東地域主体であるので、あらたにサンケイ大阪本社と  
タイアップし、阪神地区で7月5日～15日(日曜日を除く)まで20会場で  
「缶詰を使った夏のスタミナ料理のいろいろな作り方」をテーマに、講師  
唐津茂氏により「サンケイ料理教室」が開かれる。

なおこの外に、京都地区、長野地区も別途の実施計画が進められている。

#### 8. 教育者グループ

知名人や消費者のオピニオンリーダーの集団を対象とする缶詰料理パーティ  
ー、あるいは料理学校の指導者を集めセミナーなどを開らく。

昨年は指導者グループ3回、163人、各大学講師による料理実演56回、  
3,668人対象に実施した。

#### 10. 日本食品衛生協会

同会主催の厨房食品設備資材展に協賛して缶詰コーナーを開設するほか、県  
毎に同会のメンバーを集め缶詰セミナーを開催する。

##### 11. 缶詰フェア

缶詰が日本に生れて100年目に因み、東京、大阪、名古屋、仙台、札幌、  
福岡の6地区で缶詰フェアを開催する。

すでに名古屋では「ベターリビングショーナゴヤ'71」(中日新聞主催)に  
缶詰コーナーを設け5月15～30日まで盛大なフェアを行なったが、一  
般参加者は延べ30万人近くに達し特に料理実演とアンケートに協力したも  
のに貯金缶を進呈した試みは好評であった。

なお東京は7月16日、17日の2日間八重洲通り的大阪ビル地階で「伸び

ゆく缶詰、豊かな生活展」をテーマに実施される。

大阪地区では3デパートを会場とし、神戸、京都でも1個所づつそれぞれの企画により進行中である。

札幌、仙台、福岡もおつて具体案が示される筈である。

## 12. NHKきよりの料理

7月19日から24日の6日間、NHK総合テレビで「缶詰料理特集」きよりの料理が午前9時40分～10時に放送され、その再放送が午後3時40分から4時まで全国に放映されることになった。

共同宣伝としては7月号のきよりの料理テキストに広告を掲載したがこの機会に東京4デパート、京都1デパートでそれぞれテキストを教材とした料理実演が開られることになっている。

## 13. その他

日缶協発行の「かんづめハンドブック」を改訂し、2万部発行するほか、主婦の友社とタイアップし「缶詰料理」B6版、タテ綴 216Pの単行本を発行、うち共同宣伝より7000部を買いとり、3団体会員に無料配布するほか催物その他で有効に利用する。また料理テキスト10万部を作成し、各料理実演会場で活用する。

以上のほかにランラン缶切、貯金缶など必要量が用意されることになっている。

## ベターリビングショーナゴヤ '71に おけるアンケート結果

缶詰生れて100年に因み共同宣伝による6地区の缶詰フェアはまず名古屋地区が先陣を切り去る5月15日から5月30日まで愛知県産業貿易会館で開

催の中日新聞主催「ベターリビングショーナゴヤ'71」に参加し缶詰コーナーを特設、延べ30万人近くへのぼる参観者に缶詰料理、抽せん、カセット上映などにより積極的PRを行ない盛況を極めた。この期間中9,600名に対し缶詰に関するアンケートを試みたが、このほどその結果がまとまったので主な項目を掲載したい。

### 水産缶詰について

種 類 別	度数(f)	比率(%)
1.か に	5,828	61.03
2.さ け	4,057	42.48
3.まぐろ味付	1,870	19.58
4.まぐろ油づけ	910	9.53
5.まぐろフレーク味付	2,025	21.20
6.くじら	616	6.45
7.さば水煮	685	7.17
8.さば味付	311	3.26
9.さばみそ煮	474	4.97
10.さんま蒲焼	967	10.18
11.さんま味付	331	3.47
12.いわし味付	150	1.57
13.いわし油づけ	245	2.57
14.赤貝味付	1,215	12.72
15.あさり味付	487	5.10
16.かきくん製油づけ	138	1.45
17.その他魚貝	96	1.01
18. N・A	364	3.81
Base	9,550	

### 果実缶詰について

種 類 別	度数(f)	比率(%)
1.み かん	5,281	55.30
2.白 桃	4,899	51.30
3.黄 桃	1,350	14.14
4.洋 な し	613	6.42
5.パイナップル	5,272	55.20
6.フルーツみつ豆	2,400	25.13
7.フルーツポンチ	972	10.18
8.サクランボ	1,365	14.29
9.その他果実	153	1.60
10. N・A	239	2.50
Base	9,550	

### 缶詰の調理状況

種 類 別	度数(f)	比率(%)
1.そのまま	5,527	57.87
2.お料理に使う	2,958	30.92
3.ちよつと手切れる	3,007	31.49
4. N・A	371	3.88
Base	9,550	

## 野菜缶詰について

## 缶詰の特徴

種類別	度数(f)	比率(%)	種類別	度数(f)	比率(%)
1. たけのこ	1681	17.60	1. 便利さ	6.615	69.27
2. アスパラガス	3,980	41.68	2. 安全食品	1,350	14.14
3. スイートコーン	2,209	23.13	3. 経済性	922	9.65
4. マッシュルーム	1,070	11.20	4. 栄養がある	411	4.30
5. グリンピース	1,872	19.60	5. 保存できる	5,414	56.69
6. なめ茸	2,348	24.59	6. N・A	301	3.15
7. なめこ	1,048	10.97			
8. ふき	286	2.99			
9. その他野菜	84	0.88			
10. N・A	982	10.28			
Base	9.550		Base	9.550	

## 缶詰フェア（東京地区）開催要領

- テーマ “缶詰生まれて100年伸びゆく缶詰豊かな生活展”
- 趣 旨 本年は日本で缶詰が始めてつくられてから満100年に当ります。  
これに因んで、有名ブランドの缶びん詰を一堂に集めて広く消費者の皆様にご披露し、かつ缶びん詰に関する各種の資料展示と実演等を通じて、100年の長いライフサイクルを保ちなお今後の消費増大が期される缶びん詰のすべてを理解していただく機会にしたいと思います。
- 日 程 昭和46年7月16日（金）午前10時～午後5時

7月17日(土)午前10時～午後4時

4. 会 場 東京駅 八重洲口ホール 305坪  
(東京都中央区京橋1丁目2番地)
5. 主 催 日本缶詰協会、全国缶詰問屋協会、東京都食品卸同業会、  
日本製缶協会
6. 協 賛 別紙有名缶びん詰メーカー、商社、食品問屋および有名食  
品メーカー等、60社が協賛出店する。
7. 実行委員会 この缶詰フェアを実施するに当たり、次の実行委員会を組  
織。
- 総務委員 中山良助(全国缶詰問屋協会副会長)および主催4団体  
会場委員 (株)矢口屋商会、(株)明治屋、日魯漁業(株)、日本冷蔵(株)、日本  
缶詰協会。  
催事委員 日本水産(株)、日東食品製造(株)、東洋製缶(株)、日本製缶協会。  
観客動員委員 国分(株)、(株)逸見山陽堂、(株)極洋、森永製菓(株)、東京都食品  
卸同業会。  
資料・土産  
品調達委員 大洋漁業(株)、明治製菓(株)、関東缶詰食品(株)、北洋商事(株)、  
全国缶詰問屋協会。
8. 内 容 全国および関東地区の有名ブランドを持つ缶びん詰メーカ  
ー、総合商社、食品問屋ならびに調味料等の有名メーカー  
と缶詰・食品関係器具メーカー60社の協賛出店を仰いで  
展示・試食と商品説明を行なうほか、缶詰巻締め実演、缶  
詰料理教室、氷の芸術、試食・飲物コーナーの開設、現物  
模型、パネル展示、抽せん会を実施する。
- ① 缶詰巻締め実演：5Mシーマーによる巻締め(日本製缶協会提供)
- ② 缶詰料理教室：主婦の友社料理教室を特設。有名講師 助手により1  
日10品程度の缶詰料理の実演をする。

- ⑥ 氷の芸術：全日本司樹士協会の協力により一流コックにより氷彫刻を実演、陳列する。
- ⑦ 試食飲物コーナー：プロ調理士によるツナサンドイッチおよびコーンスープの調理と果実缶詰を使ったジュースの実演を行ない観客に試食試飲させる。
- ⑧ 展示物：模型およびパネル展示
- ◎ 製缶工程の模型(50cm×50cm×400cm)展示  
東洋製缶株式会社出品
  - ◎ さば、みかん、コンビーフ、いちごジャムの缶詰と内容物原材料模型の比較展示
  - ◎ 缶詰のマンガ100年史、パネル(90cm×180cm)展示
  - ◎ 缶詰生産地図のパネル(90cm×90cm 2枚)展示
  - ◎ 缶詰の主要輸出先別世界地図のパネル(90cm×90cm 2枚)展示
  - ◎ その他パネル数枚
- ⑨ 映画：缶詰製造工程等12種のフィルムを編集して一本にしたエンドレスの映画をオートカラー1000により連続上映する。
- ⑩ 抽せん会：観客全員の三角くじによる抽せんを行ない1等=200名に缶詰セット、2等=400名に缶切り1個、3等=残り全員に貯金缶1個を進呈する。
- ⑪ 資料：観客のうち、マスコミ関係者、消費者団体、学校(女子大、短大、料理学校、高校等の教師等)、日本栄養士会関係(病院、学校、保健所、企業等の栄養士)などに特別の資料を作成して手交する。
- ⑫ 土産品：招待者3,000名の観客に1人当たり、缶詰約3個



かんづめハンドブック、その他出品者の提供による  
サンプル等を詰め合わせて提供する。

## 缶詰フェア（東京地区）出店者リスト

（A会場・1～47）

コマNo.	会社名	コマNo.	会社名
1	キッコーマン醬油(株)	25	長野缶詰興業(株)
2	理研ビタミン油(株)	26	旭化成工業(株)
3	岩手缶詰(株) 東京出張所	27	はごろも缶詰(株) 東京営業所
4	味の素(株)	28	吉原製油(株) 東京支店
5	(株)中壱酢店 東京支店	29	日清製油(株)
6	日本水産(株)	30	カゴメ(株) 東京支店
7	ゼネラルフーズ(株)	31	(株)ジエー・ガーバー 商会
8	雪印アンデス食品(株) 東京支店	32	(株)エドランド工業 東京営業所
9	ハウス食品工業(株) 東京支店	33	クレードル興農(株) 東京営業所
10	三菱商事(株)	34	エムシーシー食品(株) 東京事務所
11	北洋商事(株)	35	(株)矢口屋 商会
12	明治製菓(株)	36	清水水産(株) 東京事務所
13	日魯漁業(株)	37	トーマン食品(株)
14	日魯ハイソックス(株)	38	松下鈴木(株)
15	森永製菓(株)	39	(株)逸見山陽堂
16		40	宝幸水産(株)
17	国分(株)	41	帝北食糧(株)
18	マクログループ	42	(株)極洋
19	日本農産缶詰工業組合 スィートコーン部会	43	関東缶詰食品(株)
20	ブルドックソース(株)	44	日本冷蔵(株)
21	(株)鎌倉ハム 富岡商会	45	清水食品(株) 東京事務所
22		46	(株)明治屋
23	住商フーズ(株)	47	大洋漁業(株)
24	野崎産業(株)		

( B会場・48～60 )

48	ボツカレモン(株) 東京支店	55	三井物産(株)
49	滋賀県経済農業協同組合連合会	56	(株) 鶴見商店
50	ホクレン農業協同組合連合会 東京支店	57	前田産業(株) 東京営業所
51	日東食品製造(株)	58	日本紅茶(株) 東京支店
52	ほてい缶詰(株) 東京営業所	59	(株) 不二家
53	(株) 新考社	60	ニッポン食糧(株)
54	(株) 中島董商店		

## サンケイ料理教室日程表

主 催 サンケイ新聞社  
 協 賛 日本缶詰協会  
 内 容 缶詰を使った夏のスタミナ料理のいろいろな作り方  
 講 師 唐津 茂 (料理コンサルタント)

☆ いずれも午前の会場は、10時～12時、午後の会場は1時30分～3時30分

阪 神 地 区 7月5日～15日(日曜日は除く)

とき	ところ	住 所	扱い店	電 話	申込先
5日午前 (月)午後	北千里開発センター3階 新千里東町開発センター	阪急北千里駅前 豊中市新千里東町1丁目	古江台 "	千里72-3434 "	
6日午前 (火)午後	永和公設市場2階 佐竹台集会所	東大阪市永和2丁目 吹田市千里ニュータウン	永 和 高野台	722-4487 千里71-3343	

7日午前	熊野田会館	豊中市熊野町6丁目	熊野田	54-9131	
(木)午後	荒池会館	吹田市片山1丁目	吹田片山	388-4618	
8日午前	児童公園内集会所	八尾市山本町北4丁目	山本	八尾23-0819	
(木)午後	狭山ニュータウン第1公民館	南河内郡狭山町	金剛寺池台	9-1557	
9日午前	綱引市民館	西宮市今津綱引公園内	浜甲子園	47-4543	
(金)午後	島田小学校理科教室	豊中市庄内栄町3丁目	庄内栄町	334-3525	
10日午前	神戸市立岡方会館	神戸市兵庫区小物屋町	柳原	68-1450	
(土)午後	入江小学校	神戸市兵庫区西出町149	"	"	
12日午前	松ヶ丘ビル3階ホール	明石市松ヶ丘2丁目	明舞	垂水781-1557	
(月)午後	明石デパート4階集会所	明石市錦江町	明石	911-2804	
13日午前	田辺信用組合長居支店	住吉区长居中2丁目	長居	692-4488	
(火)午後	嶋野会館	城東区西嶋野3丁目	嶋野	961-4337	
14日午前	幸福相互銀行枚方支店	枚方市京阪枚方駅前	枚方	41-2522	
(水)午後	交野会館	北河内郡交野町松塚	交野	枚方91-1097	
15日午前	中登美団地中央集会所	奈良市中登美ヶ丘	鶴舞		
(木)午後	谷町ショッピングセンター2階	枚方市被服団地	長尾	枚方57-6107	

## 第4回「缶詰食品研究会」審査結果

日 時 昭和46年6月16日 13.00～16.00時

場 所 東京渋谷 消費科学センター

主 催 消費科学連合会

## ※ 研究会の概要

この研究会は消費科学連合会の主催で同会の食糧部会員による品質、表示について採点したあと、質疑を行ない日本缶詰協会が中心となりこれに応答した。審査はフルーツみつ豆20ブランド(1ブランド2缶計40缶)、オレンジジュース7(計14缶)、りんごジュース13(計26缶)で20名がそれぞれのブランド製品を5点法で採点したところ特に問題として取りあげられた製品はなかった。計器判定で日缶協が実施したものに1点豆の内容量が1%不足していたものがあつたがそれ以外は全て規格以上であり、日本缶詰検査協会の検査員による品質検査でも不合格はなかった。

## 会 員 消 息

### 〔 人事異動 〕

※ 株式会社逸見山陽堂 缶詰部長 橋田春男氏(全缶協規格部会長)は6月末から同社福岡支店支店長として赴任した。

## 団 体 報 知

### 日本缶詰検査協会鈴木常務夫人ご逝去

日本缶詰検査協会鈴木常務理事の夫人民子さんは6月5日午前8時35分入院

先の昭和医大病院で死去された。行年50。お通夜は9日、葬儀は10日午後2時～3時大田区南馬込の善照寺において執り行なわれた。

### 〔新会社設立〕

※ 米国ボーデン・インコーポレーテッド、川崎ボーデン(株)および川崎重工業(株)の合弁会社、川崎ボーデン機械(株)を設立した。

本 社 東京都中央区八丁堀1丁目6番1号

電 話 (08) 552~1531番

取締役社長 小石六雄氏

### 〔東洋製缶(株)会長に堤清七氏が就任〕

5月28日の同社株主総会および取締役会において代表取締役会長として堤清七氏が選任された。

### 〔四国製缶(株)代表取締役に松尾周一氏が就任〕

5月18日開催の同社株主総会および取締役会において代表取締役 瀬戸祐松氏は顧問となり、後任には代表取締役、専務取締役として松尾周一氏が就任した。

### 〔日本缶詰輸出組合理事長に後藤達郎氏が就任〕

日本缶詰輸出組合では5月28日の通常総会ならびに理事会において任期満了

にともなう理事長改選により中村基孝氏の後任として三井物産㈱副社長後藤達郎氏が選任された。

### 〔青森缶詰(株)の社長に猪塚明照氏が就任〕

青森缶詰㈱(青森市港町3〜2〜23)では5月29日をもつて次のように役員変更を行なった。

取締役会長 藤田宗二郎氏

取締役社長 猪塚明照氏

### 〔役員人事〕

※ 弥生食品㈱(清水市江尻永楽町68番地)では5月29日開催の定時株主總會ならびに取締役会において次の役員が就任した。

代表取締役社長	檜島礼三氏
代表取締役専務	野田隆一氏
常務取締役	川西一吉氏(新任)
取締役	岩城秀二氏
取締役(非常勤)	藤田三郎氏
取締役( )	宮沢真介氏
取締役( )	宇坪正隆氏(新任)
取締役( )	芦川栄一氏
監査役	高田幸一氏

